

山行報告

那須・男鹿の沢

不動沢左俣左沢 1992年9月5日

湯花採取地から遡行開始。水はちょっとしぶいが、飲めないことはない。10分程遡ると、引湯パイプが沢を横切る。このすぐ上で右俣が分岐するが、細い流れである。那須用水土地改良区の取水ダムを越えて進む。沢は樹林帯の中を静かに流れるだけで、滝はかからない。左岸に岩室をみるあたりで、溪相がやや険悪になりかけたが、すぐ平凡になる。

1時間あまり遡行して、中俣出合。中俣にかかる20m 2段の滝を偵察してから、ルートを決める。左俣に入ると、すぐ左にカレ沢を分ける。このカレ沢が今日の第1の目標、左俣左沢である。

左沢は出合付近こそカレ沢であるが、すぐ水量こそ少ないものの、水の流れが出てくる。そして行く手をふさぐようにして岩壁が立ち上がり、一気に険悪な溪相となる。最初の滝は5m。よくみがかれている滝で、左手の小さなランゼを登り、トラバースする感じで滝の上に出る。このあとは滝の連続となった。まず1~2mの小滝が4つ。ここは簡単に越えるが、次の5mで行き止まった。捲くしかない。左岸の悪い草付を登り、その上の5m滝と一緒に捲く。水があったのはここまでで、この先はカレ沢となった。続く5mも登れない。左岸岩場の間に生えた樹林づたいにルートをもとめ、捲く。次の10m滝は、ようやく直登。下部は簡単だったが、最後がちょっときつかった。このあと5つの滝が続くが、いずれも直登する。ようやくこの沢の核心部は終了である。

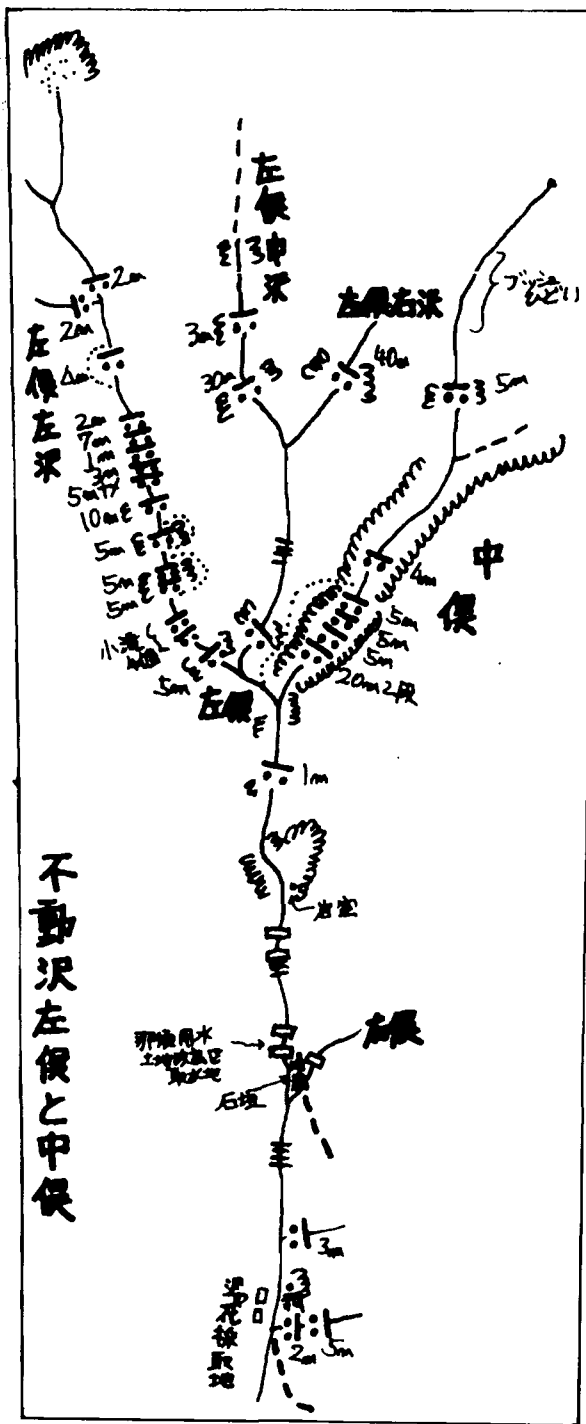
なおも忠実に沢筋をたどる。登るにつれて傾斜がきつくなり、最後は南月山東方のガレ場に出、右岸のヤブに逃げ込んで、尾根上の登山道に出る。

(記

[タイム] 湯花採取地(6:00)→右俣出合(6:15)→中俣出合(7:10, 7:30)→左沢終了(9:00)→南月山(9:15)

不動沢左俣中沢

1992年9月5日



不動沢左俣と中俣

南月山の山頂で小休止後、茶臼岳方面に稜線を少し進んでから、不動沢左俣中沢の源頭めざして下降にかかる。最初は砂礫地の中の下り。そしてその次は急斜面の樹林帯である。10分程下ると、尾根と尾根との間の窪みとなるが、なかなか沢の形態をとらない。とにかく一番低い所をたどる。20分程下ると、岩場の上に出る。そこからようやく沢の形態をとりはじめた。

やがて3mの小滝。ブッシュを利用して左岸を下る。左岸から湧水があり、水流が出てきたと思ったら、突然目の前が切れ落ちた。落差30m程の滝となっている。左岸の樹林帯を下る。樹林帯といっても、岩場にへばりついて生えた樹木をたどりながら下るのであって、垂直に近い下りである。最後の5mほどはその樹木もない。幸い、左にトラバースして、傾斜の緩い草付に出ることができた。

このあとは大小の岩が積み重なった所を通る。水流は表面に

現れはしないものの、岩場の下を音を立てて流れている。あちこちに湧水地点があるようである。すぐ左俣左沢出合となる。

(一)